

介護保険、利用451万人

700人。短期入所（シヨーツステイ）や福祉用具貸与サービスを利用す

厚生労働省は30日、2008年度の介護給付費実態調査をまとめた。

1年間に一度でも介護保険サービスを利用した人は451万6400人となり、前年度に比べ3・3%増えた。高齢者の増加を背景に、この調査を開始した01年度以降では最もなった。

昨年度3%増で最多 要介護度は悪化傾向に

都道府県の1人あたり介護サービス費用月額（今年4月審査分）

△上位5県	
①高 知	20万5400円
②沖 縄	19万9000円
③石 川	19万8100円
④佐 賀	19万7600円
⑤熊 本	19万3200円

▽下位5県	
①岩 手	16万7700円
②秋 田	17万1100円
③埼 玉	17万1800円
④宮 城	17万3000円
⑤福 島	17万3800円

増の108万5700人と、1人当たりの費用はだつた。介護が必要な程度を示す「要介護度」（7段階）は悪化傾向にある。介護保険サービスを1年間利用続けたケースでは、3番目に低い要介護度からそれ以上の要介護度に上がった人が25・7%に達した。今年3月に介護保険サービスを利用し、4月に保険審査した分をみると

都道府県別では高知県が20万5400円と最も高く、沖縄県、石川県がこれに続いた。最も低いのは岩手県の16万7700円だった。